



高松市議会 News 第 40 号

香川洋二（獣医師）

★ R 元年12月定例会一般会計 補正予算25億円381万円可決

令和元年 12 月議会一般会計補正予算や「会計年度任用職員制度」導入を令和 2 年 4 月から導入する議案 30 議案を可決・承認した。なお、人事院勧告に伴い 1 億 6555 万円増となり、補正予算後の一般会計は 1607 億 1224 万円。

Ⅱ. 12月補正の規模

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合がある。

一般会計補正額は、政策課題に対応するための事業費の補正などにより、約 2.3 億円の増額補正

区分	補正前	補正額	補正後	当初予算比	債務負担行為 (追加・変更)
一般会計 (A)	158,208	2,338	160,547	104.3	3,762
特別会計 (B)	107,312	1,581	108,893	101.5	61
企業会計 (C)	9,776	205	9,981	102.1	
下水道事業	21,302		21,302	100.0	
全会計 (A+B+C)	296,596	4,125	300,723	102.9	3,823

※特別会計の補正額は国民健康保険事業特別会計【事業勘定】、食肉センター事業特別会計及び競輪事業特別会計

★ ICT時代高齢者にタブレット 等の体験学習環境整備

6 月定例会では ICT（情報通信技術）施策を中心に登壇。市は国内で初めての、「FIWARE」による IoT 共通プラットフォーム（データ連携基盤）を構築。産学民官による「スマートシティたかまつ推進協議会」（H29 年 10 月設立）と連携、データ利活用による地域課題に対応中。

5 月 21 日には「スマートシティー高松 ICT フェア」を開催。通信事業者等のプレゼン。ただ、このデーターを受けとる市民の環境整備が必要と質問。市長はスマートシティたかまつ推進協議会の通信事業者と協力して高齢者のスマートフォン等の体験

ができるイベントの開催を検討、ICT に秀でた市民、いわゆるシビックテックの育成なども検討すると答弁。



★ BCP(業務継続計画)実行に 不安/参集メール登録率47%



9 月 11 日 連続 48 回目の一般質問。特に防災に係る事業継続計画を質問。BCP（事業継続計画）とは企業（行政）が緊急事態（自然災害や、大火災、テロ等）に陥った場合に被る損害を最小限におさえビジネス（市民サービス）を継続、早急の復旧のために日常行う活動・行動をまとめた計画。本市でも BCP はあるが、災害対応のための職員参集メール登録率は 47%。職員の半数以下。四国経済産業局 100%。香川県庁は携帯不持者以外 100%。市職員の公僕としての意識欠如が露呈。意識改革が急務。

★ X'mas前にリース作り講習会

12 月 14 日室新町自治会館で地元希望者 15 名によるリースを作り。個性ある素晴らしいリースが完成。参加者満足。



★ 奥の池耐震化補強工事完了



香川県広域水道企業団高松事務所により、本年2月14日から始まった高松市西春日町他1町にまたがる奥の池堰堤震化補強工事が完了。来年度はドレイン工事を予定している。

★ 輪島市商工会議所独自次世代交通システム導入/wa-mo



輪島市内走行地図

H30.11.1 現在



各コース 発車時刻表

地域住民の生活の安全・安心、観光客の市内中心部での回遊性向上を図る移動手段として、ゴルフ場で使用の wa-mo（電動カート）を活用。全国初の公道走行に必要なナンバーを取得。現在市内中心部を走行。観光客や地域住民の新たな移動手段として

活躍中。運営は輪島商工会議所独自。乗車料金は無料。一部走行区間は自動運転。同区間は公道に電磁ケーブルを埋設。

公共交通システムの進歩は著しい。現在政務活動テーマとして、高齢化時代の公共交通の在り方で京丹後市、北海道中頓別町、堺市、前橋市他を政務調査済。

★ 動物ふれあい施設はwelfare

12月定例会で「動物とふれあう施設建設」について質問。市長は「子供たちに命の大切さを学ぶことは大変重要だが、場所、財政等の課題もあり、中長期的な希望としたい」と答弁。現在、（公社）香川県獣医師会獣医師有志と施設設置理念等を検討している。



写真 最上段・下段右 = 埼玉こども自然動物公園

写真 中段・下段左 = 北九州市小倉区到津の森公園